

# 令和4年度第2回朝日町総合教育会議 会議録

令和4年9月27日（火曜日）

午前10時40分から●●

エコミュージアムコアセンター創遊館会議室

出席者 朝日町長 鈴木 浩幸  
朝日町教育委員会  
教育長 堀 俊一  
委員 五十嵐義一  
委員 井上 幸弘  
委員 橋間 博美  
委員 海野 睦

## 職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長 伊藤 淳  
主幹 高橋 昭彦  
課長補佐兼学校教育係長 菊地早百合（書記）  
課長補佐 伊藤 雅樹  
生涯学習係長 白田 淳

### 1. 開 会

課長の進行及び開会宣言

### 2. あいさつ

鈴木 浩幸 朝日町長  
堀 俊一 教育長

### 3. 協議事項

伊藤課長から会議の招集者である町長を議長とすることを確認し、了承を得る。

**議長（鈴木町長）** （1）朝日町立義務教育学校創設に向けた意見交換に関し、説明を求めた。

**課長** （冒頭、検討委員会だよりの内容を説明）。10/16に検討委員会だよりを全戸配布予定。これと前後するが、10/5西部、10/14中部、10/18北部の各区長会で本内容を説明する予定だ。

**●●委員** 町民の関心が高いのは場所と時期だ。開校時期については2030年よりも早くの開校を願う。

**井上委員** 推進体制について、建設委員会を立ち上げて町としてのやる気を見せてほしい。現状の体制では難しいだろう。

**課長** 校舎整備については建設委員会のような組織を立ち上げて進めていく。通常の建設には（設計から建設まで）5年程度要すると考える。

検討はハードのほか、ソフト両面からも考える必要がある。ハード面は職員でもで

- きるが、ソフト面は学校教諭の力が必要。
- 委員  
教育長 ソフト面については、どんな学校かというコンセプトが重要。  
目指す方向性の柱としては、①郷土学習の発展と②グローバル化（国際理解教育、外国語学習）を考えている。
- 五十嵐委員 今までやってきたことの積み重ねの上にこれからがある。①・②ともにこれまで力を入れてきたことを大事にしてもらいたい。
- 井上委員 今までやってきたことをブラッシュアップしてもらいたい。子供たちにとっては、わくわくする学校、楽しい学校、先生方にとっては「勤めたい（働きたい）」にしてほしい。
- 橋間委員 幼少期の教育、保・小・中のつながりが大切だ。海外では人前で堂々と話せる人が多い。これは子供同士のかかわり合いから得られるものが大きい。互いの良さを認め合う学校を目指したい。
- 海野委員  
教育長 皆さんと同じ意見だ。  
学校の規模的に、横（同級生同士）のつながりは変わらないが、縦のつながりを強化することで子供同士の学び合い、教え合いが無限にできる。
- 議長（鈴木町長） ソフト、ハードそれぞれ3か年程度かかる。まずソフト面の在り方定め、それを実現する校舎を作っていく。
- 教育長 場所については、ある程度面積が必要だ。現在の朝日中程度の規模が必要と考えている。「できるだけ早く」という考え方からすると、町有地である朝日中を有効活用することが良いのではないかと考えている。  
朝日中は町に一つの中学校で、（おおむね60歳以下の）町出身者のほぼ全員が通った。なじみのある場所で、抵抗が少ないと思われる。
- 委員 宮宿小で中学生を受け入れてはどうか。教育環境としては充実している。通学面ではまだまだ検討が必要だが…。
- 町長 開校時期は令和10年4月とし、（前回の提案の2030年から）2年前倒ししたい。場所の方向性は朝日中用地の活用を軸に検討していく。
- 議長（鈴木町長） （2）今後の進め方に関し、説明を求めた。  
課長 答申（検討委員会だより）は10月16日に全戸配布したい。その後各地区の区長会総会（秋季）をまわり、意見を聞きたい。その後PTAにも説明する。  
今回の意見や区長会の意見を踏まえて、町の意見として肉付けし、基本方針の素案としていく。10月の定例会の折、再度お示ししたい。  
その後、11月に総合教育会議を開催し、方針を決定する。12月議会で議会に示していきたい。

#### 4. 閉 会

以上、協議し、正午に第1回朝日町総合教育会議の会議を閉じた。

町 長

教 育 長

調 製 職 員 菊地早百合